

<学校教育目標>

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

子どもの育ちの連続性を大切に

校長 川本 朋子

冬の朝。明るい挨拶の声。1月17日（火）に神原中学校の生徒が、あいさつ運動に来てくれました。本校の卒業生がほとんどで、成長した姿に頼もしく感じました。あいさつを交わす小学生も、少し照れ臭そうな笑顔。久しぶりに会えてうれしかったのでしよう。

宇部市では、子どもたちの夢・希望の実現に向けた学びと社会の変化に対応した教育のため、小中一貫教育を推進しています。

その目的に、

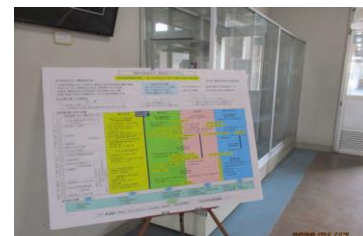
- 9か年の見通しをもった系統性・連続性のある教育課程の編成・実施
- 学校生活における精神的な安定と人間性豊かな心の育成
- 系統性・連続性のある学習指導や生徒指導の充実・改善
- 学校と家庭・地域との協働体制と、子どもの教育環境の充実をあげています。

神原中学校区でも、「小中一貫教育グランドデザイン」のもと、小・中学校で目指す子ども像を共有し、様々な取組を行っています。また、発達段階に応じ、共通の取組を通して、より良い「育ち」につなげています。中学校区で取り組む「メディアコントロール」の取組もその一例。また、今回のような「あいさつ運動」や、小中と地域合同で行う「地域清掃」の展開。中学生が小学生の手本になってくれる機会でもあります。

子どもたちが大人に向かうこの大切な9か年に、小中で連携して大切に関わり、途切れることのない子どもたちの成長を支援していきたいと願っています。



あいさつ運動



正面玄関に展示している
小中一貫教育グランドデザイン

【お知らせ】～校時表の一部改定～

令和5年度より、校時表の一部改定を行い、最終下校時刻を15:10とします。（右図参照）

改定の主な趣旨は、今以上に、**効果的で質の高い教育**の提供のため、教材研究、児童理解、時代の教育課題に即した研修等ができるように、教職員の業務時間を確保することです。このことによって、児童の在校時間においては、**教職員がゆとりをもって児童に関わるようにしたい**と考えています。

改定により、月・火・木曜日が、これまでの最終下校時刻の15:30より、20分早まっておりますので、ご確認ください。

尚、この度の改定につきましては、教職員で協議後、学校運営協議会、育友会、学童保育クラブの関係の方々にご確認をいただいておりますことを申し添えます。

令和5年度 校時表

	月	火	水	木	金
8:15~8:30	朝の時間(朝の会・朝学・読み聞かせ等)				
8:30~9:15	1校時				
9:20~10:05	2校時				
10:05~10:25	中間タイム				
10:25~11:10	3校時				
11:15~12:00	4校時				
12:00~12:40	給食				
12:40~13:25	昼休み	昼休み(30分)	昼休み	昼休み(30分)	昼休み
		掃除		掃除	
13:25~14:10	5校時				
14:15~15:00	6校時		14:20	6校時	
	15:10下校		下校	15:10下校	